毒物・劇物出納簿記載要領

各分野ごとに毒物・劇物の出納簿を記載していただく趣旨は、そのフローをもれなく把握することにより、責任体制を明確にしていただき管理の厳密性を期すためです。

しかし、提出いただいた出納簿の中には、この趣旨が徹底されず一時点での残量を記録するにとどまったものが見受けられます。

毎年度、前年度の使用状況につき出納簿のコピーの提出により報告いただくことになりますので、各分野ごとに出納簿を常置していただき、使用時点において厳密に記録していただくようご徹底いただくようお願いします。

１．毒物の管理について

○　ｇ、ｍｌ、など計量単位を明記してください。
○　必ず使用時点で記録してください。
○　保管している毒物・劇物についてはすべて出納簿を整備してください。年度中に使用実績がない品目についても、***記入例を参考として***、年度始（４月１日）と年度末（３月３１日）の残量を記録してください。
○　残量をネットで計測困難なものについては容器を含んだ重量で記録していただいて構いませんが、その場合には、***記入例を参考として***、購入時点での容器重量や、空になって廃棄した容器の重量を記録してください。

２．劇物の管理について

○　毒物に準じて記録してください。ただし、使用が頻繁に行われる品目については、当分の間、***容器を開封した時点***で容器内容量を***全量消費***したものとして記録しても構いません（ただし、可能な限り、毒物と同様に容器内の残量まで含めて記録してください）。

３．出納簿フォームについて

別紙の「毒物・劇物出納簿」の書式をコピーしてご利用ください。

各講座等で、独自の出納簿を使用される場合にも、上記書式の各項目を網羅してください。

上記書式は、一太郎１１、Word2000、Excel2000　以下のバージョンでお渡しできます。ご入用の場合は申し出ください。（WindowsかMachintoshかを指定してください）

記　入　例

容器とともに計測する場合の例

区分（毒物）・劇物

どちらかを○で囲かむ

講座 分野名　○○○講座　△△△分野

毒物 •劇物出納簿

品 名 （　アジ化ナトリウム　）　　単位（ g ）

年 月 日			受高 購入）数　量	払 高 使用量）数 量	使用者	現在高数量 残　量）	備　考
14	4	1	247			247	前年度繰り越し 容器重量含む）
	4	25		20	山田太郎	227	
	5	10		15	桜山花子	212	
	6	18		13	山田太郎	199	
	7	22		40	山田太郎	159	
	8	3	327			486	購入　内容 200g 容器重量 127g
	8	10		30	桜山花子	456	
	9	16		18	山田太郎	438	
	9	16		127		311	容器廃棄
	10	8		36	山田太郎	275	
	12	13		45	山田太郎	230	
15	2	8		13	桜山花子	217	
	3	11		23	桜山花子	194	
15	3	31				194	次年度繰越 容器重量含む

計量単位を記入

年度始めの残量を記入
容器を含めて計測した場合は、そのことを明記

購入の場合は、内容量と容器重量を分別する

空になった容器を廃棄する場合は、容器重量分を減ずる

年度末の残量を記入
容器を含めたことを明記